



最多獲得賞金は毒島誠

住之江GPは毒島誠がイン速攻で勝ち、GP出場11回目、優出7回目で初めて黄金のヘルメットをかぶった。獲得賞金は歴代で8位となる約2億4636万円。毒島の1億円超えは過去6回あったが、2億円超えは初めて。最多獲得賞金に輝くのも初めてだ。
1億円レーサーは全部で13人誕生し、23年よりも3人ほど増えたが、過去最多だった00年の15人(2億円レーサーも2人)には及ばなかった。



12月19日の住之江GP3日目TR2nd11Rで菊地孝平が4コーンからコンマ01のFを切った。Fの判定が出るのに時間が掛かったことから分かるように、肉眼で見てもFかどうか分からないくらいにわずかな勇み足。しかし、その代償はあまりにも大きい。
23年4月から罰則規定が強化されておき、GPのTRでのFはSG準優のFと同等の扱いとなるため、菊地は今年1年間はSG出場停止。仮に賞金ランク18位以内でもGPには出場できない。GIもIIはF休み明けから半年間の出場停止。この1月から下関周年、常

菊地孝平がGPトライアルでF



滑BCCT、津東海地区選、唐津周年、常滑周年と5節ほどGIを走り、3月15日からF休みに入る。11月3日からの地元浜名湖周年が

表1 2000年以降の男女賞金1位選手

年	男子	賞金額	女子	賞金額
2000	市川 哲也	223,905,000	寺田 千恵	56,606,000
2001	田中信一郎	211,445,000	寺田 千恵	67,215,000
2002	植木 通彦	283,776,000	角 ひとみ	43,093,000
2003	田中信一郎	229,840,333	日高 逸子	42,444,000
2004	今村 豊	188,120,200	海野ゆかり	48,891,133
2005	辻 栄蔵	189,473,800	日高 逸子	57,184,100
2006	松井 繁	228,005,000	横西 奏恵	50,807,000
2007	魚谷 智之	205,374,000	寺田 千恵	36,690,000
2008	松井 繁	212,593,000	横西 奏恵	46,391,000
2009	松井 繁	251,204,000	濱村美鹿子	31,056,600
2010	中島 孝平	193,812,000	日高 逸子	36,550,000
2011	池田 浩二	250,854,000	田口 節子	36,827,808
2012	山崎 智也	163,512,000	田口 節子	41,897,000
2013	池田 浩二	198,233,000	平山 智加	52,674,000
2014	菊地 孝平	169,549,000	日高 逸子	40,965,000
2015	山崎 智也	229,330,000	寺田 千恵	40,522,000
2016	瓜生 正義	213,420,000	松本 晶恵	44,936,000
2017	桐生 順平	212,241,000	遠藤 エミ	53,904,500
2018	峰 竜太	202,912,000	小野 生奈	41,907,532
2019	石野 貴之	225,642,666	大山 千広	56,836,000
2020	峰 竜太	250,682,000	平高 奈菜	54,912,999
2021	瓜生 正義	182,111,000	遠藤 エミ	64,398,000
2022	白井 英治	187,792,457	遠藤 エミ	82,668,200
2023	石野 貴之	222,030,000	遠藤 エミ	59,374,000
2024	毒島 誠	246,363,033	?	?

*太字はグランプリ、クイーンズクライマックス覇者



兵庫のエース・魚谷智之が12月16日の地元尼崎一般戦を最後に現役を引退した。

魚谷智之が電撃引退

なお、GPの1stで脱落していた瓜生正義は4日目にF。権利があった地元若松のクラシックと、連覇がかかる福岡周年がF休みに掛かってしまう。

記念戦線の復帰戦になりそう。罰則規定強化後のSGでのFは、23年5月菅屋オールスターの下條雄太郎(準優)、24年5月多摩川オールスターの守屋美穂(準優)に続いて3件目。菊地はスタートは早いですがFは多くないタイプでもあり、罰則規定ありのFは07年10月平和島タービーの準優以来、17年ぶりです。

瓜生正義や原田幸哉らと同期の76期で95年5月に尼崎でデビューし、初出走でいきなり1着。4期目にA2級、8期目にA1級に昇格。10期目以降は1度たりとも降格することなく、A1級をキープし続けた。

SGは優出14回でV3。06年福岡タービーで吉川元浩とワンツーを決め、兵庫支部としては1960年の井上一二郎さん以来、46年ぶり2人目のSG王者となった。翌07年には桐生オーシャンカップ、蒲郡メモリアルとナイターSGを連覇。この年はGIも3勝して、グランプリは優出3着ながら獲得賞金は2億円を突破して最多獲得賞金のほか、MVPと記者大賞の3冠を獲得。これまでグランプリを制覇せずに2億円を突破したのは松井繁(2回)、西島義則、山崎智也、池田浩二と魚谷の5人しかない。

通算成績は勝率7・25、出走回数6980回で2081勝、優出287回、優勝はSG3回、GI11回を含む88回。生涯獲得賞金は歴代23位の約16億2416万円。

また、11月末から12月にかけては次の5選手も引退した。

- 山来 和人(東京63歳54期)
- 片山 雅雄(滋賀42歳109期)
- 中山 将太(福井28歳117期)
- 井町 泰(山口33歳120期)
- 生田波美音(東京22歳124期)

山来和人さんは江口晃生らと同期。8年目からA級常連になった

表2 優勝回数ランキング

順	選手	優出	優勝
1	彦坂 郁雄	275	179
2	北原 友次	340	163
3	松井 繁	429	145
4	今村 豊	410	142
5	岡本 義則	306	137
6	前本 泰和	378	133
7	野中 和夫	307	132
8	倉田 栄一	214	123
8	守田 俊介	323	123
10	加藤 峻二	399	120
11	江口 晃生	412	119
11	今垣光太郎	354	119
13	白井 英治	316	118
14	山室 展弘	385	116
15	深川 真二	339	115
16	赤岩 善生	334	114
17	小林 嗣政	285	113
18	服部 幸男	334	108
19	吉川 元浩	307	104
20	峰 竜太	271	103
21	松尾 泰宏	253	102
21	瀬戸 康孝	196	102
23	徳増 秀樹	352	102
23	市川 哲也	352	102
25	濱野 谷憲吾	344	101
26	原田 幸哉	279	100
26	西島 義則	395	100

一般戦強豪クラスで、20年以上に渡りA級をキープ。そのうち半数近い17期がA1級で、自己最高勝率は99年後期の7・18。SG出場はなかったがGI出場は多数。唯一の優出は10年4月の徳山マスターズC。通算では8568走で1474勝、優出152回、優勝18回。現役最後のレースは10月16日の蒲郡。12月4日からの平和島もあつせんが入っていたが初日を欠場して、そのまま引退となった。

片山雅雄さんは丸野一樹らと同期。A級昇格、優出、優勝がないままの引退。通算では1456走で67勝。現役最後のレースは11月28日の地元びわこ。

中山将太さんは吉田裕平らと同期。6年目に2期連続でA2級に昇格し、自己最高勝率は21年後期の5・68。優出は5回あり、21年2月の戸田でインから逃げて優勝を飾っている。通算では1663走で198勝。現役最後のレースは8月21日の地元三国。

井町泰さんは佐々木完太らと同期。約7年半の選手生活で810走し23勝。現役最後のレースは12

月5日の地元下関。生田波美音さんは末永和らと同期。実働は4年間で644走し51勝。現役最後のレースは23年4月9日の三国。長期欠場中だったが、復帰することなく引退となった。

西島義則が通算V100 ナイター最年長優勝記録も更新

12月12日の住之江マスターズリーグ第9戦で、西島義則が予選トップからのイン速攻で王道優勝を飾り、史上27人目となる通算優勝100回を達成した。

GP直前の節でもあり、上位機は全てお蔵入りの低調機シリーズだったが、出足をバッチリ仕上げ





2025年のスター候補が発表された。
 トップルーキーは地区別の選抜ではなく、21年以降では最多となる12人。SG王者となった定松勇樹、そして末永和の佐賀コンビは3年連続、大澤風葵は2年

2025年スター候補 決まる

て節間オール3連対。初優勝とSG初優勝を飾っている思い出の水面でのメモリアル優勝となった。
 と同時に63歳1か月での優勝は年長記録の歴代4位で、ナイターの最年長優勝記録をも更新。また60歳以上の優勝は7回目と記録づくめの優勝となった。

表3 年長優勝記録ベスト15

順	選手名	年齢	日付	場
1	加藤 峻二	71歳2か月	2013/3/25	戸田
2	高塚 清一	65歳10か月	2013/1/29	常滑
3	新良 一規	65歳0か月	2021/9/7	徳山
4	西島 義則	63歳1か月	2024/12/12	住之江ナイター
5	西島 義則	62歳11か月	2024/10/20	桐生ナイター
6	尾崎 鉄也	62歳8か月	2018/8/15	福岡お盆
7	鈴木 幸夫	62歳6か月と20日	2020/3/1	福岡
8	高橋 隆	62歳6か月と18日	1996/3/17	唐津
9	万橋 章	62歳5か月	2006/4/23	尼崎GI
10	鈴木 幸夫	61歳11か月	2019/7/28	鳴門
11	新良 一規	61歳10か月	2018/6/10	蒲郡ナイター
12	岩口 昭三	61歳8か月	2003/11/28	住之江
13	西島 義則	61歳7か月	2023/6/21	宮島
14	岡本 義則	61歳4か月	1996/6/24	戸田
15	岩口 昭三	61歳3か月	2003/6/22	三国

表4 2025スター候補選手

ルーキー	定松 勇樹	大澤 風葵
	末永 和也	中島 秀治
	中野 仁照	飛田 江己
	常住 蓮	西岡 顕心
	藤原 碧生	清水 愛海
	川井 萌	藤田 俊祐

桐生	塚越 海斗	長谷川晴哉
戸田	青木 蓮	中野 希一
江戸川	若林 樹蘭	石渡翔一郎
平和島	仲 航太	堀越 雄貴
多摩川	村上宗太郎	佐藤 永梧
浜名湖	刑部亜里紗	山口 晃朋
蒲郡	大場 恒季	縦山 拓馬
常滑	仲道 大輔	高井 雄基
津	中山 翔太	上野 拓馬
三国	加藤 優弥	小坂 風太
びわこ	吉川 晴人	廣瀬 凜
住之江	石本 裕武	竹間 隆晟
尼崎	武井莉里佳	登 みひ果
鳴門	田中 駿兵	井上 遥妃
丸亀	水谷 理人	西丸侑太郎
児島	森 智哉	藤原 早菜
宮島	大原 祥昌	津田 陸翔
徳山	福山恵理奈	笹木 香吾
下関	野田 彩加	寺田 空詩
若松	藤井 公人	土井 歩夢
芦屋	森口 和紀	安河内鈴之介
福岡	神里 琴音	城間 盛渚
唐津	上瀧 絢也	田中 宏典
大村	山口真喜子	北村 寧々

※□の選手は昨年からの継続

24場のフレッシュルーキーは江戸川、平和島、宮島の3場だけが変わりなし。蒲郡の大場恒季、宮島の大原祥昌、下関の野田彩加の3人は3年連続で指名されている。女子は昨年よりも1人増えて全部で11人。



藤原碧生がGI優出

最優秀新人のタイトル獲得が濃厚な藤原碧生が、9月桐生ヤングダービーに続くまだ2回目のGI出場だった12月の鳴門周年で優出(5着)した。最優秀新人の対象期間(デビューして4年未満)にGIで優出したのは90期以降でわずかに10人しかいない偉業。
 しかも、ヤングダービー(新鋭



塩田北斗の連続S無事故止まる

12月5日の鳴門周年3日目8Rで塩田北斗が2コースからコマ01のFを切った。

塩田のFはこれがまだ4本目という少なさで、13年2月27日の芦屋で選手責任の出遅れを最後にスタート無事故を続けていたが、11年10か月ぶりのFで連続無事故記録は歴代15位となる3454走で



王座)やレディースチャンピオン(女子王座)ではなく、強豪がそろそろ周年での優出は17年に大村(優勝)と芦屋(2着)の両周年で2回の優出があった羽野直也以来、実に2人目の快挙。
 藤原は129期だが、これまで最優秀新人のタイトルはほとんどが半年早くデビューしている偶数期の選手ばかり。藤原は95期の峰竜太以来、実に18年ぶりとなる奇数期の最優秀新人ということになりそう。

表5 スタート無事故歴代ランキングベスト15

順	選手名	記録	備考
1	河合 三弘	5959走	
2	森 實	5782走	(継続中のまま引退)
3	小野 勇作	5398走	……現役継続中1位
4	林 侃	5308走	(継続中のまま引退)
5	佐藤 政行	5146走	(継続中のまま引退)
6	藤田 竜弘	4934走	……現役継続中2位
7	信濃 由行	4837走	
8	水長 照雄	3993走	
9	加藤 峻二	3937走	(2015/05/01のFでSTOP)
10	加藤 峻二	3797走	(1991/05/17のFでSTOP)
11	増田 弘喜	3779走	
12	米田 隆弘	3585走	
13	金子 貴志	3556走	
14	都築 正治	3477走	
15	塩田 北斗	3454走	

12月22日現在

岩橋裕馬がFからF

16年5月18日のデビューからずっとスタート無事故を続けていた岩橋裕馬が、12月15日の丸亀一般戦5日目準優10Rで4艇による集

ストップした。塩田は初昇格の14年後期からずっとA級(そのうちA2級は3期だけ)をキープしており、それまでの3本のFと出遅れはいずれもB級時代。A級になって初のFということもあり、96年以降のA1級としてのスタート無事故記録も1455走。それまでトップだった寺田祥の911走を大幅に更新した。現役選手で継続中は小野勇作の5398走と藤田竜弘の4934走で藤田は史上6人目となる5000走が目前に迫っている。



12月11日が初日だったこの節は強風の日が多かった影響か、3日目6Rでも4艇の集団Fが発生していた。岩橋がFを切ったレースは強い向かい風で安定板装着の2周戦。集団Fの発生確率が高まったも高い条件(安定板装着の向かい風)がそろっていた。

表6 デビューからのS無事故

順	選手名	記録
1	今泉 友吾	1814走
2	岩橋 裕馬	1648走
3	渡辺 浩司	1383走
4	能登屋 亮一	1257走
5	上條 信一	1237走
6	山崎 昂介	1046走
7	品田 直樹	1029走
8	中澤 和志	1022走

褒賞懲戒の結果

12月4日に開催された褒賞懲戒審議会で次の3選手に出場停止処

12月3日三国周年の12R優勝戦で金子拓矢が4コースからコンマ01のFを切った。金子は罰則規定により、F休み明けから1年間、G I G IIを走れないので、記念戦線への復帰は早くても来年4月以降になる。なお、金子の罰則規定ありのFは初めて。24年の罰則規定ありのFは18本にも達したが、G I 優勝戦のFは9月11日津周年の宮之原輝紀に続く2人目。

金子拓矢がG I 準優F



分が下された。山一鉄也II 4か月 越智照浩II 4か月 篠原飛翔II 2か月 山一は9月12日常滑一般戦初日4Rで周回誤認疑い。越智は11月1日児島初日2Rで周回誤認疑い。篠原は10月13日戸田最終日6Rの周回展示中のバックストレッチでエンスト。原因が燃料が空だったことで選手責任による整備不良。

選手の負傷情報

山室展弘II 12月13日唐津一般戦4日目2Rの1周目バックストレッチの2マーク手前で2番手の選手が外に変わろうとしてエンジン後部を引っかけてしまい落水。右ひ骨幹部骨折で全治見込みは約2か月。

島崎丈一朗II 12月15日びわこルークシーシリーズ5日目3Rで3着争いをしていて2周1マークで風にあおられて転覆し、後続艇が避

山室展弘



表9 マスターズ出場権争い

順	選手名	支部	勝率
優先枠			
優先枠			
	中辻 崇人	福岡	7.98
	今垣光太郎	福井	7.37
	西島 義則	広島	6.77
	鈴木 博	埼玉	6.44
	吉田 俊彦	兵庫	6.31
	谷村 一哉	山口	6.28
	山本 隆幸	兵庫	6.22
	角谷 健吾	東京	6.09
	中岡 正彦	香川	6.09
	12 池田 浩二	愛知	8.10
	13 深川 真二	佐賀	7.61
	14 吉川 元浩	兵庫	7.46
	15 守田 俊介	滋賀	7.41
	16 松井 繁	大阪	7.32
	17 瓜生 正義	福岡	7.22
	18 江口 晃生	群馬	7.13
	19 上平 真二	広島	7.12
	20 中澤 和志	埼玉	7.02
	21 笠原 亮	静岡	7.02
	22 平田 忠則	福岡	6.98
	23 赤岩 善生	愛知	6.94
	24 辻 栄蔵	広島	6.94
	25 寺田 祥	山口	6.93
	26 平尾 崇典	岡山	6.92
	27 杉山 正樹	愛知	6.87
	28 濱野谷憲吾	東京	6.87
	29 出畑 孝典	福岡	6.85
	30 佐々木康幸	静岡	6.85
	31 寺田 千恵	岡山	6.83
	32 中島 孝平	福井	6.82
	33 齊藤 仁	東京	6.81
	34 坪井 康晴	静岡	6.80
	35 林 美憲	徳島	6.79
	36 萩原 秀人	福井	6.77
	37 森高 一真	香川	6.77
	38 服部 幸男	静岡	6.74
	39 原田 幸哉	長崎	6.73
	40 井口 佳典	三重	6.72
	41 益田 啓司	福岡	6.71
	42 太田 和美	大阪	6.71
	43 湯川 浩司	大阪	6.70
	44 重野 哲之	静岡	6.69
	45 中辻 博訓	福井	6.69
	46 山崎 哲司	愛知	6.67
	47 金田 諭	埼玉	6.66
	48 古結 宏	兵庫	6.65
	49 田頭 実	福岡	6.65
	50 市橋 卓士	徳島	6.64
	51 北村 征嗣	大阪	6.62
	52 浅田千亜希	徳島	6.60
	53 石川 真二	福岡	6.59
	54 飯島 昌弘	埼玉	6.59
	55 白水 勝也	福岡	6.55
	56 三角 哲男	東京	6.55
	57 徳増 秀樹	静岡	6.54
	58 三嵩 誠司	香川	6.53
	59 吉村 正明	山口	6.53
	60 深井 利寿	滋賀	6.52
	61 田中 信一郎	大阪	6.50
	62 石倉 洋行	福岡	6.48
	63 仲口 博崇	愛知	6.46
	64 吉川 昭男	滋賀	6.45
	65 武田 光史	福井	6.45
	66 山川美由紀	香川	6.44
	67 東本 勝利	三重	6.43
	68 丸岡 正典	大阪	6.42
	69 海野ゆかり	広島	6.42
	70 佐藤 大介	愛知	6.41

表8 獲得賞金ベスト30

順	選手名	獲得賞金額
1	毒島 誠	246,363,033
2	馬場 貴也	177,745,833
3	桐生 順平	171,578,333
4	茅原 悠紀	146,108,333
5	池田 浩二	128,654,000
6	関 浩哉	124,416,760
7	峰 竜太	119,902,333
8	定松 勇樹	119,637,000
9	菊地 孝平	112,403,000
10	平本 真之	109,928,466
11	土屋 智則	108,112,333
12	河合 佑樹	104,257,000
13	宮地 元輝	100,842,333
14	瓜生 正義	93,342,999
15	前田 将太	93,199,333
16	西田 貴浩	92,818,333
17	佐藤 翼	91,122,000
18	松井 繁	87,705,000
19	山口 剛	87,399,333
20	上條 暢嵩	84,920,000
21	寺田 祥	72,987,533
22	森高 一真	72,440,266
23	丸野 一樹	72,009,833
24	片岡 雅裕	70,281,666
25	上野真之介	69,690,666
26	吉川 元浩	69,275,666
27	篠崎 元志	67,787,532
28	吉田 拓郎	66,277,733
29	深谷 知博	65,747,000
30	島村 隆幸	65,139,000

表7 女子獲得賞金ベスト30

順	選手名	獲得賞金額
1	遠藤 エミ	61,952,000
2	三浦 永理	50,687,000
3	浜田亜理沙	43,458,166
4	渡邊 優美	39,381,866
5	守屋 美穂	38,959,000
6	細川 裕子	37,331,999
7	平高 奈菜	37,049,500
8	平山 智加	36,048,866
9	西橋 奈未	35,649,000
10	宇野 弥生	32,807,932
11	寺田 千恵	32,632,428
12	田口 節子	32,561,190
13	藤原 菜希	32,034,162
14	川野 芽唯	31,989,982
15	海野ゆかり	31,678,000
16	長嶋 万記	30,894,000
17	平田さやか	28,989,930
18	香川 素子	27,659,000
19	日高 逸子	26,760,848
20	松尾 夏海	26,606,000
21	大瀧明日香	26,565,000
22	實森 美祐	26,412,000
23	清笠 翔子	26,245,000
24	向井 美鈴	26,127,742
25	落合 直子	25,576,829
26	山川美由紀	25,524,000
27	岩崎 芳美	25,355,260
28	関野 文	24,369,666
29	櫻本あゆみ	24,217,066
30	廣中智紗衣	24,110,000

12月22日現在

は届かない。5期は宮崎心之介以降、まだ朗報は届かない。

佐藤がまだ5人目の水神祭。13期は9人まで減ったが、134期は佐藤がまだ5人目の水神祭。13期は9人まで減ったが、134期は

組は組まれなかった。佐藤世那は常滑で5コースから大きく勝ち。河内一馬は江戸川で4コースからの大きく勝ち。鈴木唯央は戸田で4カド菅章哉のまくりに乗っての大きく差し。未勝利選手は132期が5人、133期が9人まで減ったが、134期は佐藤がまだ5人目の水神祭。13期は9人まで減ったが、134期は

性はある。地元群馬勢は勝率十分な秋山直之(懲戒処分)と柴田光(GII準優F)がPGIには出場できない状況なので、江口晃生だけが当確。あとは施行者推薦で選ばれる可能性はある。

けられずに接触。左第4指末節骨骨折で全治見込みは90日。

今月の水神祭

- (初勝利) 12月2日 浅井 翼(埼玉133期)
- 12月3日 坂本 一真(東京132期)
- 12月14日 佐藤 世那(東京134期)
- 12月16日 河内 一馬(愛知133期)
- 12月22日 鈴木 唯央(群馬133期)

- (SG初勝利) 12月18日 豊田健士郎(三重115期)
- (初優勝) 12月11日 藤森 陸斗(福岡127期)
- 12月13日 清水 愛海(山口127期)
- 12月22日 山口 亮(東京111期)
- (SG初優勝) 12月22日 前田 将太(福岡102期)

この1月から初A1級の清水愛海が8回目の優出だった地元元関のオールレディースで2コースか

ら差して優勝、自ら花を添えた。その2日前には5回目の優出だった同期の藤森陸斗が浦郡で予選トップからの王道優勝。127期の優勝経験者は6人になった。5回目の優出だった山口亮は徳山の男女W優勝戦で2コースからの差し。デビューから13年目の111期では赤井睦、寺島吉彦に続く24年3人目の初優勝。

4月22日に桐生で開幕するマスターズCの選考締め切りは今月いっぱい。ポーターは過去最高だった6・54を上回りそうな6・60。ポーター下には田中 信一郎、三嵩誠司、徳増秀樹、三角哲男ら歴代SG覇者の名前もある。女子は寺田千恵と浅田千亜希だけが圏内だが、浅田は出走回数不足で除外になるかもしれない。

マスターズC選考順位